



非常操練
操練は法律で義務付けられている訓練であり、今回は総員退船操練、防火操練を行いました。退船合図後、居室から救命胴衣を着用し、所定の救命筏乗艇位置まで速やかに避難しました。その後、乗組員より各種救命器具などの説明があり、その後消火ホース、消火器を使用した防火操練を行いました。生徒達は真剣に取り組み、非常時に備えた貴重な訓練となりました。

今航海実習もいよいよ終わりが見えてきました。生徒達も船酔いにはある程度慣れ、元気に実習を行なっています。この航海では非常操練や、東京湾での航海実習などを行いました。

実習もいよいよ終盤!!



浦賀水道航路・中ノ瀬航路
東京湾入口に所在する航路であり、東京湾は大型船だけでも1日で500隻以上の船舶往來がある、世界でもトップクラスの船舶が多い場所になります。また湾内には釣り船も多く見張りを厳重にしなければなりません。今回は時間帯的に船舶は多くはなかったのですが、300mを超える巨大船や普段目にする事の無い船舶などに驚きながらも、事前学習した内容を踏まえながら見学を行い、自分で調べるなど積極的に学習を行いました。

～生徒日誌より～ 【出席番号N o 8～15】

横峯 海聖	山崎 慶士	持留 千里	村松 龍也	宮原 怜也	堀之口 聖真	中野 義佑	帖地 洋輔
『今日は来島海峡を通りました。関門とは違った凄みがありました。潮流信号所等もまた見れていい勉強になりました。』	『今日は東京湾の浦賀中ノ瀬航路での航海実習を行なった。今日は船の少ない日だったが、ピークの目などは気の抜けない航海になると実感した。他にも東京マーチスへの通報やパイロットの方の話など貴重な事を見たり聞いたりできてよかった。』	『備讃瀬戸ではパイロットが教えてくれたりノット数を調べたりいろいろここでも学ぶことがありました地図で見ると本物を見るのは全然違いました』	『今日は八時ごろに東京湾にいった。東京湾は思ったよりかは船は多くなかった。東京タワー富士山を見た。』	『今日備讃瀬戸、明石海峡航路の見学をした。備讃瀬戸は水島航路や宇高と重なっているためAISなどで確認することやどちらも船舶が多く学ぶことがあった。』	『今日は浦賀水道と中ノ瀬航路を航行した。大型船やRORO船などいろいろな種類の船がいた。また標識を見て何を表しているかを友達と確認したりした。東京を初めて見ることができて良かった』	『今日は来島海峡を通った。船が思ったより流されていて潮の強さがわかった。意外にも船が少なくてびっくりした。』	『今日は船橋から来島海峡を見ることができた。今回は中水道を通り、潮がとて速く潮で舵をもつていかれそうだった。渦巻きが出来ていて初めて見る光景だった。潮流信号を見たり色々学べた』

冒頭にも書きましたが、間もなく第2次航海実習が終了します。残り日数も少ないですが、最後まで気を抜かず、実り多い実習とし元気な姿で11月18日を迎えたいと思います。

今回の実習は、遠洋航海実習ではなく沿岸航海実習でしたが、本科・専攻科共に一人一人が成長したことかと思えます。生徒達の成長した姿や実習での土産話を楽しみにしてください。